

2001年度環境活動目標と評価

2001年度に取り組んだ主な環境活動目標と評価は次の通りです。

なお、年度推移等の詳細データは各項データをご覧ください。

活動目標	目標値	目標年	2001年度		掲載頁
			目標	評価	
売上高エネルギー原単位の削減 (1)	20%削減(基準年度1990年)	2010年度	1990年度比 87.6%	×	P7
廃棄物の最終処分量削減	85%以下に削減(基準年度1998年)	2005年度	1998年度比 93%		P8
	75%以下に削減(基準年度1998年)	2010年度			
化学物質の管理の徹底	PRTR実績収集の確実な実行	2001年度	PRTR実績収集 の確実な実行		P11
エコグリーン化など、環境配慮 型製品化率の向上 製品の省資源・省エネ率向上 プラスチック屑・銅屑のリサイ クル率の向上 鉛など有害化学物質の削減	エコグリーン化率 90% 光・情報システム関連機器省エネ製品化率 50% など	2002年度	エコグリーン化率 70% 光・情報システム 関連機器省エネ製品化率 42% など		P14

(1)売上高には、製品に含まれる銅の価格を差し引いて、過去の銅価格推移に左右されない「ゼロベース売上高」を使用しています。

2002年度からの環境活動目標

2002年度に取り組む活動目標を次の通り制定しました。

2002年度を最終目標年度としている項目と、中期的に取り組む目標とを制定しています。

化学物質規制に関する社会の要求に応え、化学物質が大気や水域に排出される排出量を削減することや、重金属などの有害化学物質の全廃を新しく目標に取り入れました。有害化学物質のうち、カドミウムについては既に全廃をはかっています。

項目	活動目標	目標値	目標年
省エネルギー	売上高エネルギー原単位の削減	20%削減(基準年度1990年)	2010年度
廃棄物の削減	廃棄物の最終処分量削減	80%以下に削減(基準年度1998年)	2005年度
		70%以下に削減(基準年度1998年)	2010年度
化学物質管理	排出量の削減	「禁止物質」(2)の排出量全廃	2005年度
		「削減物質」(2)の排出量15%削減(基準年度2000年)	2003年度
		「削減物質」の排出量30%削減(基準年度2000年)	2005年度
環境に 配慮した製品	エコグリーン化など、環境配慮 型製品化率の向上 製品の省資源・省エネ率向上 プラスチック屑・銅屑の リサイクル率の向上 鉛など有害化学物質の削減	エコグリーン化率 90% 光・情報システム 関連機器省エネ製品化率 50% など	2002年度
	環境適合設計アセスメント基準に 適合した環境適合製品の拡大	適用率60%	2003年度
	六価クロム・鉛・カドミウム・水銀 PBB・PBDEの全廃	全廃(顧客仕様品は除く)	2004年度

(2)日立自主管理化学物質の区分によります。